

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）および前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）および当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）および前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表ならびに当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）および当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,454	29,865
受取手形及び売掛金	9,601	6,288
商品及び製品	1,345	849
仕掛品	469	183
原材料及び貯蔵品	1,165	1,698
ゲームソフト仕掛品	12,055	14,333
その他	7,415	8,132
貸倒引当金	△45	△48
流動資産合計	65,462	61,303
固定資産		
有形固定資産	※ 14,128	※ 14,049
無形固定資産		
のれん	89	179
その他	3,345	3,048
無形固定資産合計	3,435	3,227
投資その他の資産		
その他	8,403	9,060
貸倒引当金	△1,020	△1,019
投資その他の資産合計	7,382	8,040
固定資産合計	24,946	25,318
資産合計	90,408	86,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,611	3,477
短期借入金	13,211	13,211
未払法人税等	820	663
賞与引当金	429	1,318
返品調整引当金	80	90
その他	7,837	6,451
流動負債合計	26,991	25,211
固定負債		
長期借入金	7,000	4,355
退職給付引当金	1,475	1,388
その他	2,044	1,708
固定負債合計	10,520	7,453
負債合計	37,511	32,665

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	17,864	17,262
自己株式	△13,141	△13,141
株主資本合計	59,290	58,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△88	19
為替換算調整勘定	△6,305	△4,752
評価・換算差額等合計	△6,393	△4,732
純資産合計	52,897	53,956
負債純資産合計	90,408	86,621

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	38,892	40,706
売上原価	23,008	26,098
売上総利益	15,883	14,607
返品調整引当金戻入額	27	10
差引売上総利益	15,911	14,618
販売費及び一般管理費	※ 10,336	※ 10,675
営業利益	5,574	3,942
営業外収益		
受取利息	143	92
受取配当金	16	16
その他	126	49
営業外収益合計	286	158
営業外費用		
支払利息	88	78
貸倒引当金繰入額	2	—
支払手数料	92	—
為替差損	167	1,097
その他	32	44
営業外費用合計	384	1,220
経常利益	5,476	2,880
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	17	1
特別利益合計	17	2
特別損失		
固定資産除売却損	23	15
投資有価証券評価損	—	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	204
その他	—	1
特別損失合計	23	478
税金等調整前四半期純利益	5,470	2,404
法人税、住民税及び事業税	2,284	784
法人税等調整額	219	△163
法人税等合計	2,503	620
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,784
四半期純利益	2,967	1,784

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	19,394	21,669
売上原価	12,412	13,712
売上総利益	6,982	7,956
返品調整引当金戻入額	5	20
差引売上総利益	6,987	7,977
販売費及び一般管理費	※ 5,078	※ 5,040
営業利益	1,909	2,937
営業外収益		
受取利息	90	24
その他	40	11
営業外収益合計	130	35
営業外費用		
支払利息	36	40
貸倒引当金繰入額	2	—
支払手数料	79	—
為替差損	534	245
その他	27	22
営業外費用合計	680	307
経常利益	1,359	2,664
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	1	0
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	16	0
特別損失合計	16	0
税金等調整前四半期純利益	1,344	2,666
法人税、住民税及び事業税	45	598
法人税等調整額	562	497
法人税等合計	607	1,096
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,570
四半期純利益	736	1,570

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,470	2,404
減価償却費	1,595	1,481
のれん償却額	137	89
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△144	1
受取利息及び受取配当金	△160	△108
支払利息	88	78
為替差損益 (△は益)	265	1,101
固定資産除売却損益 (△は益)	23	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	204
売上債権の増減額 (△は増加)	24,379	△3,551
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,018	△304
ゲームソフト仕掛品の増減額 (△は増加)	△2,891	2,076
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,903	1,266
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,175	1,577
その他	△146	△426
小計	21,557	6,162
利息及び配当金の受取額	161	106
利息の支払額	△94	△79
訴訟関連損失の支払額	—	△161
法人税等の支払額	△1,678	△606
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,946	5,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△775	△751
無形固定資産の取得による支出	△204	△215
その他	112	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△867	△605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△5,055	—
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△355	△355
自己株式の取得による支出	△2,704	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△923	△1,179
その他	△160	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,199	1,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,191	△2,338
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,687	3,639
現金及び現金同等物の期首残高	28,611	29,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 37,299	※ 33,454

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したCAPCOM GAME STUDIO VANCOUVER, INC. を連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 14社</p>
2 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ16百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は220百万円減少しております。</p> <p>(2) 持分法に関する会計基準 および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分) および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。 この適用による損益への影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係)
1 営業外費用の「支払手数料」は、営業外費用総額の100分の20以下となっておりますので、当第2四半期連結累計期間より、「その他」に含めて表示しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は27百万円であります。
2 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係)
1 営業外費用の「支払手数料」は、営業外費用総額の100分の20以下となっておりますので、当第2四半期連結会計期間より、「その他」に含めて表示しております。なお、当第2四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は13百万円であります。
2 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 棚卸資産の評価方法	当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。
3 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法	当社の法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1 税金費用の計算	連結子会社の税金費用に関しては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 16,812百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。)	※ 有形固定資産の減価償却累計額 16,105百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。)

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 2,224百万円	広告宣伝費 3,000百万円
給料・賞与等 2,157百万円	給料・賞与等 2,236百万円
賞与引当金繰入額 412百万円	賞与引当金繰入額 293百万円
退職給付引当金繰入額 45百万円	退職給付引当金繰入額 44百万円

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 1,235百万円	広告宣伝費 1,099百万円
給料・賞与等 1,074百万円	給料・賞与等 1,075百万円
賞与引当金繰入額 191百万円	賞与引当金繰入額 155百万円
退職給付引当金繰入額 25百万円	退職給付引当金繰入額 20百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成21年9月30日現在)	※ 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成22年9月30日現在)
現金及び預金 37,351百万円	現金及び預金 33,454百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金 △52百万円	現金及び現金同等物 33,454百万円
現金及び現金同等物 37,299百万円	

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	67,723

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	8,636

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,181	20	平成22年3月31日	平成22年6月21日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年10月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	886	15	平成22年9月30日	平成22年11月19日

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエキスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	13,600	3,323	343	1,086	1,041	19,394	—	19,394
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	13,600	3,323	343	1,086	1,041	19,394	(—)	19,394
営業利益または営業損失(△)	2,588	365	△165	△337	429	2,881	(971)	1,909

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発・販売およびオンラインゲームの開発・運営事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、I C基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエキスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および遊技機等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエキスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	27,748	6,249	656	2,560	1,676	38,892	—	38,892
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	27,748	6,249	656	2,560	1,676	38,892	(—)	38,892
営業利益または営業損失(△)	7,299	480	△334	△403	668	7,711	(2,137)	5,574

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発・販売およびオンラインゲームの開発・運営事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、I C基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエキスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および遊技機等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,034	1,928	1,280	149	19,394	—	19,394
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	984	251	53	27	1,316	(1,316)	—
計	17,019	2,179	1,334	177	20,710	(1,316)	19,394
営業利益または 営業損失(△)	4,140	△1,222	△15	35	2,937	(1,028)	1,909

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・・アジア、その他

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	27,906	6,098	4,371	515	38,892	—	38,892
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3,272	654	54	29	4,011	(4,011)	—
計	31,179	6,752	4,425	545	42,903	(4,011)	38,892
営業利益または 営業損失(△)	7,738	△454	255	118	7,657	(2,083)	5,574

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・・アジア、その他

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,121	1,141	591	3,855
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	19,394
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	5.9	3.1	19.9

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,499	3,850	1,389	11,739
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	38,892
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.7	9.9	3.6	30.2

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての国内および海外の包括的な戦略を立案する複数の事業統括を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業統括を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンシューマ・オンラインゲーム事業」、「モバイルコンテンツ事業」、「アミューズメント施設事業」および「アミューズメント機器事業」の4つを報告セグメントとしております。

「コンシューマ・オンラインゲーム事業」は、ユーザー向けのゲームの開発・販売をしております。「モバイルコンテンツ事業」は、モバイル向けコンテンツの開発・販売をしております。「アミューズメント施設事業」は、ゲーム機を設置した店舗の運営をしております。「アミューズメント機器事業」は、店舗運営業者等に販売するゲーム機や遊技機等を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,773	1,365	5,916	1,406	39,462	1,244	40,706	—	40,706
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,773	1,365	5,916	1,406	39,462	1,244	40,706	—	40,706
セグメント損益	4,530	300	732	19	5,583	227	5,810	△1,867	3,942

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2 セグメント損益の調整額△1,867百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,867百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,778	685	3,285	1,154	20,904	764	21,669	—	21,669
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,778	685	3,285	1,154	20,904	764	21,669	—	21,669
セグメント損益	2,746	202	554	188	3,691	197	3,888	△951	2,937

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2 セグメント損益の調整額△951百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△951百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	
1株当たり純資産額	895.26円	1株当たり純資産額	913.18円

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	48.30円	1株当たり四半期純利益金額	30.20円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	48.12円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

- (注) 1 当第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 2 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	2,967	1,784
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,967	1,784
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,435	59,086
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百万円) 社債管理手数料(税額相当額控除後)	0	—
四半期純利益調整額(百万円)	0	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数(千株)	235	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	12.06円	1株当たり四半期純利益金額	26.58円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12.02円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

- (注) 1 当第2四半期連結会計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
- 2 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	736	1,570
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	736	1,570
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,049	59,086
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百万円) 社債管理手数料(税額相当額控除後)	0	—
四半期純利益調整額(百万円)	0	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数(千株)	234	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(1) 中間配当

第32期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)中間配当については、平成22年10月28日開催の取締役会において、平成22年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 配当金の総額 | 886百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成22年11月19日 |